

三樹会NEWS

さんじゅかい

発行 H24. 8. 25

創刊号

特定非営利活動法人三樹会

住所 群馬県太田市只上町1665

電話 0276-37-7781

mail oota-popura@salsa.ocn.ne.jp

HP <http://popura.littlestar.jp>



新年度がスタートしたと思ったら、あっという間に夏になってしまいました。

残暑の厳しい毎日が続いていますが、皆さんいかがお過ごしでしょうか。

昨年、突然克雄さんが逝ってしまい、経験したことのないショックで

その頃の記憶が曖昧です。止まってしまった時計と、動き、成長し続ける

時計の間で、考えてもどうにもならないことを考えるのはやめました。我が子と、ぼぶらっ子達と

父母の方々と、職員関係者、友達、たくさんの人に支えられて、なんとか切り抜けてくることが出来ました。

感謝しています。克雄さんの提案でNPO法人化を決め、書類を県に提出した直後の出来事だったので、

走り続けるしかありませんでした。克雄さんは、きっと見守ってくれていると思います。

平成7年にぼぶら共同保育園を立ち上げて、今年で18年目になります。卒園児は57名になりました。

現在は24名の園児と、10名の学童が居ます。どこの園にいても、こどもは平等に公的支援を受ける権利

があります。「ぼぶらの自由さはそのままに、公的な支援は受けたい」という想いは10年かかりましたが、

少しずつ叶って、群馬県と太田市から補助金が支給されるようになりました。これも、父母会やぼぶらっ子

の会（OB会）の方々の理解と協力のおかげです。

ぼぶらで出会う私たちは、かなりの少数派です。少数だから出来る保育を大切にしてきました。

こどもが人として育つ原点のところで、こどもの成長の喜びを父母と共有できることは、なによりの

幸せで、保育士冥利に尽きます。同時にこの仕事の責任の重さも感じています。

これからも、保育士魂を持ち、ひとつのことを続ける力を持ったプロで有りたいと思っています。

さすがに、飛んだり跳ねたりの高さは、低くなってしまいましたが、こどもと父母の幸せを願う想いと、

保育理念は低くなっていません。

個人で運営していた時は、克雄さんに頼りっきりでしたが、NPO法人になることで、たくさんの人に

支えられてぼぶらが続けられることを、心強く感じています。未来を創るこども達の健康と幸せと、

その父母達の幸せのために、時代の波にのみ込まれず、ぼぶらしさを見失わずに歩み続けたいと思います。

三樹会も未来に向かって！

理事長 塙 榮子

理事紹介



副理事 木村美佐子

私は、ぽぷら保育園創立の平成7年から給食作りのお手伝いをしています。4人のこどもは、すべてぽぷらの卒園児です。

この17年の間、成長していくぽぷら保育園を見続けてきました。今後、NPOの活動として、給食関連の事業で貢献していけるよう、がんばります。よろしくお願いいたします。



川島 宏美

ぽぷら保育園には、創立時より2人のこどもたちと7年間お世話になりました。下の娘の卒園を期に「いつまでもぽぷらの一員でありたいという願いからぽぷらっ子の会（OB会）を結成。

平成12年より、川島書道教室を主宰。どうぞよろしくお願いいたします。



川島 洋子

2人のこどもがぽぷらに在園中、ぽぷらの音楽、リズムに会い、こどもが生き生きと音楽する姿に驚かされた。

音楽は楽しむもの、共感するもの、響かせ合うものということに改めて気付かされ、共に勉強する。

現在、「川島ピアノ教室」 主宰。よろしくお願いいたします。



太田 美喜子

ミクススクール（学習塾）経営を経て、その経験を生かして、娘2人と共に4年間をぽぷら保育園で過ごす。

ぽぷらで、学習の基礎は、「人間としての土台作りにある」ことを確信。現在、ぽぷら保育園事務兼ミクススクール代表。今を生きるこどもたちに学ぶことの楽しさを！

よろしくお願いいたします。



監事 石井利明

自営業のかたわら、漁協、NPOなどの理事を務める。環境保全に興味があり、99年に芦澤貴金研修生として、6カ月イエローストーン国立公園にて過ごす。その後、群馬・栃木のNPO設立に関わる。

三樹会では、自然と環境分野を行ってみたい。

◆ほぷらのあゆみ◆

平成7年「ほぷら共同保育園」スタート
平成12年 ほぷら保育園 に改称
平成13年 ほぷらっ子の会（OB会）発足
平成17年 太田市準認可保育施設に認定
平成23年 NPO法人準備委員会設置
平成24年 NPO法人三樹会 設立
NPO法人三樹会は・・・

今までの保育事業は継続。
経済的自立をしつつ、多様化させていき、
それぞれの夢を実現させていきます。

◆年間行事予定◆

4月 ようこそほぷらへ（入園式）
理事総会
5月 金山親子遠足
6月 田植え
7月 じゃがいもパーティー
8月 納涼祭
9月 敬老会参加
10月 運動会・稲刈り・いも掘り
11月 バザー
12月 クリスマス会
1月 もちつき
2月 味噌づくり
3月 春を祝う会（卒園式）



お知らせ

納涼祭

今年は、9月1日（土）PM5：00～8：00 ほぷらにて行います。

- ・おみこしわっしょい
- ・エイサー
- ・こども達のうた
- ・夕食タイム
- ・沖縄民謡 石井道康さん（6：30～ 20分位）
- ・花火 7：00～

◎今年は久しぶりに石井さんによる三線の演奏があります。お楽しみに。



バザーの様子
おいしいものがいっぱい！

バザー

11月11日（日）
AM11：00～PM1：00

秋の食材を使った、ごはんやお菓子
産直野菜・揚げパンなどの販売と
フリーマーケットを開催します！

賛助会員の方は受付で500円分チケットを
配布します。 当日受付で入会することも
できます。（会員証発行）

食育研修 in 山形

7月1日、私たちは小俣の理髪店の熊澤さんの紹介で、山形県高島町の菊池良一さんを訪ねました。菊池さんは、有機農業家であると共に、和法薬膳（わほうやくぜん）研究所長もやっています。

その菊池さんは、日本オリンピック委員の強化スタッフで、アスリートの間では有名人なのです。菊池さんとオリンピックの付き合いは、2000年のシドニー五輪の時、射撃選手の風邪をドーピング検査にかかるかもしれない薬ではなく、食事で治す相談を射撃の日本代表監督の藤井さんから受けた事に始まりました。シドニーの時は、メダルを逃したものの2名が入賞しました。そして、選手からは病気を治すだけでなく「集中力が持続できる」という評判が立ちました。

監督の藤井さんの、「オリンピックで勝つためには質の良い食べものが必要であり、オリンピックとは国と国との農業の“質”の競い合いだ」という話に心が動かされ、菊池さんはオリンピックを通じて農が出来ることを確かめている（2010年には、松田選手がピストルの2つの世界チャンピオンになっています!）、というスゴイ方でした。

その菊池さんに、ぼぶらの給食は三分つき米を圧力釜で炊いていることをお話しすると、「そりゃオリンピック選手と同じだ！サッカーの岡ちゃん監督にもおんなじ事を教えたよ！」と褒めてもらいました

（良かったね、ぼぶらの子達!）。また、ぼぶらで長年実践してきた、自然食・自然療法研究家の東城百合子先生が、菊池さんのお米を食べていると聞いて、栄子さんと顔を合わせて、本当にビックリ！今回の研修では、じっくりと“元気”の話を菊池さんから教えてもらいました。

それを聞いて、私なりに考えた、元気になるためには・・・

- ①未精米のモノを主食にする②発酵食品を取り入れる③栄養学・カロリー計算には頼らない
- ④酸化したモノは食べない⑤薬に頼らず食べモノで病気を治す
- ⑥体温を上げる食品を選ぶ⑦便をためない！

考えてみれば、オリンピック選手も子どもたちも、身体に良いものは同じ！

今後とも、菊池さんとの出会いを発展させ、

子どもたちに元気になってもらおうっと！（木村美佐子 記）



菊池さんのそば打ち道場にて

賛助会員募集中

三樹会の活動を、年間を通じて支援していただける方を募集しています。

会費：3,000円 特典あり

たくさんの皆さまのご入会をお待ちしております。

卒園児・父母原稿募集

ぼぶら保育園の思い出・近況報告など、なんでもOKです。投稿していただいた作品は、広報誌に掲載させていただきます。イラストも募集中です！

◆ ホームページも見てね ◆

ぼぶら保育園の日々の様子をブログで公開中です。アクセスをお待ちしています。

<http://popura.littlestar.jp>

◎ 編集後記

はじめての広報紙発行となりました。すべてが初めての経験でしたが、「無いところから創り出す」というのがぼぶら流！よろしくお願ひします。
*年に3回発行予定です。

（太田記）



